

# 人間発達学部

子ども発達学科教授 星 三和子

## 1. 研究活動

a 演奏会・展覧会・競技会等の名称・著書・論文・作品等の名称（項目ごとに記入する）	b 発表または発行の年月日	c 演奏会・展覧会の会場・主催等または論文等の発行所・発表雑誌等の名称	d 発表・展示・作品等の内容等・論文概要等（共著の場合のみ編者・著者名を記入）
著書			
Jeux et culture au préscolaire	2010. 7.	INRP, Lyon, France	Rayna,S. & Brougère, G. (eds) 担当章「Jeu et education des tout-petits au Japon」フランスの幼児教育では近年遊びが軽視され学習が重視される傾向がある。文化のなかでの遊びの価値を認め、乳幼児教育での遊びの役割の重要性について様々な立場から書かれた論文集。 本章では最初に日本の社会における遊びの概念、発達における遊びの意味、日本の幼児教育が遊び中心であることの分析を行った。次に日本とフランスの保育における価値の伝達の研究のうち、保育者と子どもの相互作用による遊び場面事例について、そこに含まれる発達心理学的な意味および文化的な意味の詳細な分析を行った。遊び活動を通して大人から伝えられる文化的価値の意味について考察した。pp.129 -158.
Parents-professionnels: la coéducation en questions	2010. 10.	Edition ERES, Toulouse, France	Rayna,S., Rubio,M.N, Sheu,H. (eds) 担当章「Tradition et évolution de la coéducation au Japon. 日本の保育における保育者と親の協同の歴史と現状、子育て支援政策の経過と現状、子育て支援の事例の分析を行った。ここから、保育所保育が親の参加を含めて発展してきた日本の特徴を示し、また親の育児に保育所が支援する子育て支援の日本人的特徴について分析した。pp. 87-96
学術論文			
子どもの発達にとって町とは何かービストイアの保育における環境としての町	2010. 3.	十文字学園女子大学人間生活学部紀要第7号 pp.133 - 144	共著者：星三和子、上垣内伸子 本人執筆部分：全文執筆。イタリアのビストイア市は「子どもに優しい町」を標榜し、主体性をもった市民としての子どもの発達を町ぐるみで支援している。本稿ではまず0～6歳児に関する政策を一本化し保育コーディネータの職を置いている市の政策を紹介した。次に保育実践において、子どもたちが町に出て文化資源と関わり探索しつつ地域の人々と交わる実践を紹介した。さらに保育・幼児教育職員が研修を通して専門家として自己実現している様子を述べた。地域社会のなかで子どもをどう育てるか、子どもの視点を町づくりにどう生かすか、保育施設はそれにどう関わるべきかを論じた。

Culture préscolaire et nouveaux défis au Japon	2010. 4.	Revue internationale d'éducation de Sèvres, 53, pp. 55-64.	単著。掲載誌はフランス教育省国際教育研究所発行の学術誌。最近の経済不況下、EU 諸国では幼児教育における基礎学力重視の声が高まり、遊び中心教育との論争が盛んである。これを踏まえて、日本の伝統的な幼児教育が遊び中心であることを紹介し、日本型の遊び中心教育の特徴と子ども全体を捉える視点の分析、保育実践の事例分析、また現状での遊び中心教育維持の脆弱さの分析を行った。ここから遊び中心の幼児教育の重要性と国際的な協力による理論強化を訴えた。また日本の乳幼児政策の公平性と多様性への配慮の未熟さについて述べた。
ピストイアの幼児学校・保育所のドキュメンテーションにおける個と共同の発達	2011. 3.	十文字学園女子大学人間生活学部紀要第 8 号 pp.109 - 135	共著者：星三和子、上垣内伸子。本人執筆部分：考察最後の部分を除く全文執筆。イタリア、ピストイア市の公立幼児学校と保育所のすぐれたドキュメンテーションを紹介する冊子を作成したが、そこに掲載したドキュメンテーションのことばと写真の 1 枚 1 枚を分析し、ピストイアの保育の思想と実践を浮かび上がらせた。そこでは子どもの個の発達を促すことが子ども同士の相互作用と共同作業によって保障されており、保育者は環境づくりに徹し、子どもの自発性が生かされていることを、明らかにした。
翻訳書			
OECD 保育白書人生の始まりこそ力強く	2011. 3.	明石書店	訳者：星三和子、首藤美香子、大和洋子、一見真理子。P. 520.
学会発表			
子育て・子育て支援に関する 4ヶ国共同研究 (1) 日本の子育て支援の聞き取り調査による支援目的の分析	2010. 5.	日本保育学会第 63 回大会 (於松山)	発表者：星三和子、上垣内伸子、向井美穂、塩崎美穂。
乳児同士のかかわりに関する保育者の意識－自由記述分析－	2010. 5.	日本保育学会第 63 回大会 (於松山)	発表者：大竹信子、星三和子
SIMILARITIES AND DIFFERENCES AMONG SERVICES IN 4 COUNTRIES	2010. 9.	ヨーロッパ幼児教育学会第 20 回大会 (於 Birmingham, UK.)	シンポジウム企画・発表 Vandenbroeck, M. シンポジスト：星三和子、Musatti, T., Rayna, S.
子育て支援施設における専門職の役割－聞き取り調査からの検討－	2011. 3.	日本発達心理学会第 22 回大会 (於東京学芸大学)	発表者：向井美穂、星三和子、上垣内伸子、塩崎美穂
0-1 歳児が示す、相手に合わせたコミュニケーションの発達	2011. 3.	日本発達心理学会第 22 回大会 (於東京学芸大学)	発表者：大竹信子、星三和子

Reflection on the respite care services at parenting support centers for mothers with childcare stress : analysis of two cases.	2010. 8.	第 26 回 OMEP 世界大会 (於 Gotheborg, Sweden)	発表者：上垣内伸子、星三和子、向井美穂、塩崎美穂
学会開催			
日仏教育学会 2010 年度研究大会	2010. 10.	十文字学園女子大学	開催大会委員長。テーマ「変わる 0～6 歳の保育・教育」
講演、公開シンポジウム			
講演 第 4 回白梅子ども学講座：世界の子どもの政策から学ぶ	2011. 1.	白梅学園大学	「子どもに優しいまち：イタリア ピストリアの子ども・家族支援の取り組み」
シンポジウム お茶の水女子大学 ECCELL 公開シンポジウム：「子育て力の危機と創生」～エンパワーメントの視点から～	2011. 3.	お茶の水女子大学	発表「フランス・イタリアにおける子育て力育成の現状」シンポジスト：星三和子、牧野カツコ。司会：大戸美也子

## 2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

f 教育内容・方法の工夫および作成した教材・資料等		g その他教育活動上特筆すべき事項
授業科目 多文化保育、多文化教育		平成 22 年度は本学に就任しておらず、教育活動は前任校である十文字学園女子大学における活動である。
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
子どもの発達の文化的な要因を知るための文化人類学のビデオ、日本と各国の保育園、幼稚園で自分で撮影した映像と写真。多文化保育、多文化教育の実践の映像。多文化教育のための書籍（英語とフランス語）、偏見と差別をなくす幼児教育の例（英語）など、日本にはない素材から授業を構成した。	ビデオ映像、パワーポイント、文書の翻訳資料、配布資料。	
授業科目 行動観察法実習		
<input type="checkbox"/> 前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
自分で撮影した就学前児の映像を観察のしやすさに従って段階的に構成した教材 DVD を使用した。パソコン演習室で、DVD を使って受講生は個別の観察の練習を行い、様式を決めたレポートを作成した。その後、付属幼稚園で実地の観察およびビデオ撮影を行った。グループでの分析、発表会を行った。	教材 DVD の作成。様式を定めたレポート用紙。実地観察でのビデオ記録 DVD。発表会での資料。	

授業科目 発達心理学概論	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
授業はパワーポイントと配布資料が中心であった。パワーポイントで授業を行ったのち、復習のために資料で配布した。授業の最初に小さい用紙を配布、授業の最後に授業での重要点と質問を書くよう指示、回収して次回の授業で復習と質問への回答を行った。	パワーポイントの他、発達心理学の歴史的な映像、有名な実験場面の映像、発達検査の映像、一人の子どもの6年間の発達の映像、7歳から42歳までの生涯発達の映画など、実際の映像を用いた。
授業科目 人間発達演習	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
3年次のゼミで、卒業研究に向けて必要な知識と考え方、技能を指導した。文献検索や学外資料の収集法、論文の読み方、発達心理学実験の方法、発達臨床の考え方など。このなかで学生は自分のテーマを決め追求した。	配布資料、現場の見学（障害児施設、子育て支援施設、助産院など）。
授業科目 卒業研究	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
卒業論文を書くために、資料検索、実際の現場での体験（施設、養護学校など、親子の会のボランティアなど）を勧め、論文を読み、論文構成の仕方、書き方、文章の添削などを行った。個別指導および共同での学び合いの機会を作って、指導を行った。	個々の学生に応じて、資料、見学、体験などを紹介し、指導した。

### 3. 学会等および社会における主な活動

h 学会等の名称	i 活動期間	j 活動概要その他
日仏教育学会		理事。大会開催委員長
ヨーロッパ幼児教育学会		学会誌投稿論文の査読委員。日本コーディネータ
日本発達心理学会		